

「放射性廃棄物処分の原則と基礎」(印刷版) 正誤表

平成 29 年 8 月 3 日

「放射性廃棄物処分の原則と基礎」(印刷版) の記載に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、以下のとおり訂正させていただきます。

| 訂正箇所 | 誤 | 正 |
|-----------------------------|---|---|
| 4 ページ, 第 4 段落, 1 行目 | …人々の理性的あるいは感情的反応は、様々な議論の混乱を導くものであるが、そのめざすところは、… | …人々の非理性的あるいは感情的反応は、様々な議論の混乱を導くものであるが、そのめざすべきところは、… |
| 4 ページ, 第 5 段落, 2 行目 | … 3R で達成が不可能… | … 3R の達成が不可能… |
| 15 ページ, 第 2 段落, 12～13 行目 | …海洋汚染に対しては、生態系に対する汚染は十分ではないが相当の懸念があるという形で取り入れられている。 | …海洋汚染に対しては、生態系における深刻な影響が引き起こされる十分な科学的確実性があるわけではないが相当の懸念があるという形で取り入れられている。 |
| 25 ページ, 第 2 段落, 1 行目 | …後日談がある。1982 年の連邦政府の、6 千の土壌、空気、地下水試料に基づく詳細な調査では、ラブ・カナル地区が汚染されていたという証拠がまったく見つからず、… | …後日談がある。1980 年の連邦政府の、合計約 6 千の土壌、空気、地下水試料に基づく詳細な調査では、汚染のあった地区の周辺地域で、非常事態令で移住の対象とされたラブ・カナル地区が汚染されていたという証拠がまったく見つからず、… |
| 37 ページ, 第 1 段落, 3～4 行目 | $1.7 \times 10^8 \text{ Bq/kg}$ | $1.8 \times 10^8 \text{ Bq/kg}$ |
| 37 ページ, 表 1.4.3 | 1000 年後 1.4×10^{10} 1.5 万年後 1.4×10^{10} 20 万年後 1.4×10^{10} | 1000 年後 2.0×10^{10} 1.5 万年後 2.1×10^{10} 20 万年後 2.0×10^{10} |
| 59 ページ, 第 6 段落, 1 行目 | … ¹⁴ C は半減期 5730 年で… | … ¹⁴ C は半減期 5700 年で… |
| 67 ページ, 第 1 段落, 2 行目 | $N_1 = \lambda_1 \lambda_{12} N_1^0 \dots$ | $N_1 = \lambda_1 \lambda_2 N_1^0 \dots$ |
| 92 ページ, 第 2 段落, 2 行目 | …生物学的な滞留によって決まる器官にわたって… | …生物学的な滞留によって決まる期間にわたって… |

| 訂正箇所 | 誤 | 正 |
|-----------------------------|--|---|
| 95 ページ, 3.3.1 の第3段落, 3行目 | …核分裂の前には, … | …細胞核の分裂の前には, … |
| 101 ページ, 第4段落, 6行目 | …財団法人放射線影響研究所… | …公益財団法人放射線影響研究所… |
| 126 ページ, 図 4.1-3 | ガラス固化体換算で約 24,000 本が既に発生している | ガラス固化体換算で約 25,000 本が既に発生している |
| 126 ページ, 図 4.1-3 | 貯蔵量: 1,727 本* | 貯蔵量: 1,737 本* |
| 134 ページ, 4.3.1 の第1段落, 2行目 | …鉱石 (ore) は 0.1%程度かそれより少し多くのウランを含んでいるにすぎない。… | …鉱石 (ore) は 0.1%程度から数十%ウランを含んでいる。… |
| 133 ページ, 図 4.3-1 | 濃縮六フッ化ウラン ^{235}U 3~4% | 濃縮六フッ化ウラン ^{235}U 3~5% |
| 162 ページ, 3行目 | ^{14}C (β^- , 5730 y) | ^{14}C (β^- , 5700 y) |
| 158 ページ, 4.5.2 の第2段落, 3~4行目 | …ろ過あるいは遠心に基づいて処理され, … | …ろ過あるいは遠心分離によって処理され, … |
| 164 ページ, 4.6.3 の第1段落, 6~7行目 | … (公) 日本アイソトープ協会… | … (公社) 日本アイソトープ協会… |
| 164 ページ, 4.6.3 の第1段落, 9行目 | …日本原子力研究開発機構… | … (国研) 日本原子力研究開発機構… |
| 165 ページ, 表 4.6-5 | (独) 日本原子力研究開発機構 | (国研) 日本原子力研究開発機構 |
| 165 ページ, 表 4.6-5 | (公) 日本アイソトープ協会 | (公社) 日本アイソトープ協会 |
| 171 ページ, 最終段落, 1行目 | …実際の作業, 公衆の成員および環境への影響… | …実際の作業, 公衆の構成員および環境への影響… |
| 172 ページ, 表 4.8-1 | クラスノヤルスク | クラスノヤルスク-26 |
| 194 ページ, 表 5.2-1 | 個別安全指針 DS427(Draft) 予測的環境影響評価と… | 一般安全指針 DS427(Draft) 予測的環境影響評価と… |
| 194 ページ, 表 5.2-1 | 一般安全指針 RS-G-1.7 | 安全指針 RS-G-1.7 |
| 194 ページ, 表 5.2-1 | 一般安全指針 RS-G-1.8 | 安全指針 RS-G-1.8 |
| 224 ページ, 最終段落, 4行目 | …その核種に危険性の持続時間は, … | …その核種の危険性の持続時間は, … |
| 226 ページ, 第1段落, 7~8行目 | …初期の危険性の数万分の1 (0.01%… | …初期の危険性の約1万分の1 (0.01%… |
| 231 ページ, 図 5.4-7 | 廃棄体(Waste Form(s)) | 廃棄体(Waste Package(s)) |
| 232 ページ, 最終段落, 7~8行目 | …除染は処理される廃棄物を減容する操作である。 | …除染は処理される廃棄物から放射性物質を除去する操作である。 |
| 236 ページ, 第2段落, 1~2行目 | …自然過程に起因する擾乱事象は, 処分施設の位置と設計によって, その事象の影響から隔離される数 m から十数 m 程度の深度を選ぶことにより回避することができる。 | …自然過程に起因する擾乱事象は, 処分施設の位置と設計やその事象の影響から隔離される数 m から十数 m 程度の深度を選ぶことにより回避することができる。 |

| 訂正箇所 | 誤 | 正 |
|------------------------------|---|---|
| 244 ページ, 図 5.4-18 | 40cm φ × 120cm | 約 40cm φ × 約 130cm |
| 248 ページ, 表 5.4-4 | INDRAF/NIRAS | ONDRAF/NIRAS |
| 248 ページ, 表 5.4-4 | SHB | SKB |
| 249 ページ, 参考文献 | IAEA (1994). Joint Convention on Nuclear Safety, … | IAEA (1994). Convention on Nuclear Safety, … |
| 262 ページ, 最終段落, 1~2 行目 | 地下水面より下にある飽和帯内の水は, 周囲の土壌や岩石自身の重みによって圧力を受けるため大気圧より高い状態になっており, 被圧地下水と呼ばれる。 … | 地表から最初の地下水面より下にある間隙が地下水で満たされている領域(飽和帯)の水は, 地下水面における大気圧及び地下水の深さに応じた静水圧を受けており, 不圧地下水(自由地下水)と呼ばれる。またこの地下水が, 周囲の土壌や岩石により閉じ込められてその重みによって圧力を受けて大気圧と静水圧より高い状態になっているものは被圧地下水と呼ばれる。… |
| 263 ページ, 第 2 段落, 9 行目 | …難透水層で挟まれた領域の水は, 周囲と違う形で圧力を受ける… | …難透水層で挟まれた領域の水(被圧地下水)は, 周囲と違う形で圧力を受ける… |
| 265 ページ, 表 6.2-1 | 亀裂のない火成・変成岩の透水係数 $10^{-14} \sim 10^{-18}$ | 亀裂のない火成・変成岩の透水係数 $10^{-14} \sim 10^{-10}$ |
| 266 ページ, 図 6.3-1 | …固体化マトリクス=ガラス, セメント他, … | …固体体マトリクス=ガラス, セメント他, … |
| 270 ページ, 6.3.2 の第 2 段落, 3 行目 | $\text{pH} = \log [\text{H}^+]$ | $\text{pH} = - \log [\text{H}^+]$ |
| 272 ページ, 第 1 段落, 4 行目 | $n\text{CO}_2 + n\text{CH}_2\text{O} \rightleftharpoons (\text{CH}_2\text{O})_n + n\text{O}_2 (\text{g})$ | $n\text{CO}_2 + n\text{H}_2\text{O} \rightleftharpoons (\text{CH}_2\text{O})_n + n\text{O}_2 (\text{g})$ |
| 281 ページ, 図 6.4-2 | 直径 400 mm 重量 500 g FP+TRU 約 40 g ガラス 400 g 容器 ステンレスキャニスター 100 g | 直径 430 mm 重量 500 kg FP+TRU 約 40 kg ガラス 400 kg 容器 ステンレスキャニスター 100 kg |
| 321 ページ, 表 7.1-3 | 直観的 | 直感的 |
| 338 ページ, 図 7.2-8 | FFP 概念モデル | FEP 概念モデル |
| 338 ページ, 図 7.2-8 | 他表環境への核種の流入 | 地表環境への核種の流入 |